

家庭用ディスポーザ



大容量モデル
YS-8100(-V)



偏平モデル
YS-7000L



超偏平モデル
YS-7000LB

保証書はこの取扱説明書の25ページについておりますのでお客様名・お引渡日などの記入をお確かめください。

- このたびは、FROMディスポーザをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。ディスポーザを安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。
- この説明書には保証書が付いておりますので、大切に保管してください。

株式会社FROM工業

もくじ

1. ディスポーザの概要	1
2. ディスポーザの構成	2
3. 安全上のご注意	3
4. 使用上のご注意	6
5. 投入物についてのご注意	7
6. 運転のしかた	9
7. 「ピピピッ、ピピピッ、・・・」 と音が鳴って動かないときは	13
8. ディスポーザのお手入れ	16
9. 自動給水型ご使用のご注意	19
10. 故障の原因と対策	21
アフターサービス	23
保証書	25
ディスポーザの仕様	26

1. ディスポーザの概要

【ディスポーザとは】

ディスポーザは水を流しながら生ごみを粉砕し、排水流を使って、粉砕した生ごみを押し流します。

【ディスポーザ設置について】

ディスポーザは以下の要件を満たす場合のみ取り付けが可能です。

1. 『ディスポーザ単独設置が認められている地域』

ディスポーザの単独設置が認められている地域は限られています。取り付けにあたっては、事前に自治体の下水道担当窓口へ確認が必要となっています。また、ディスポーザ設置後は、排水管の洗浄（1回以上 / 年）をおすすめしています。

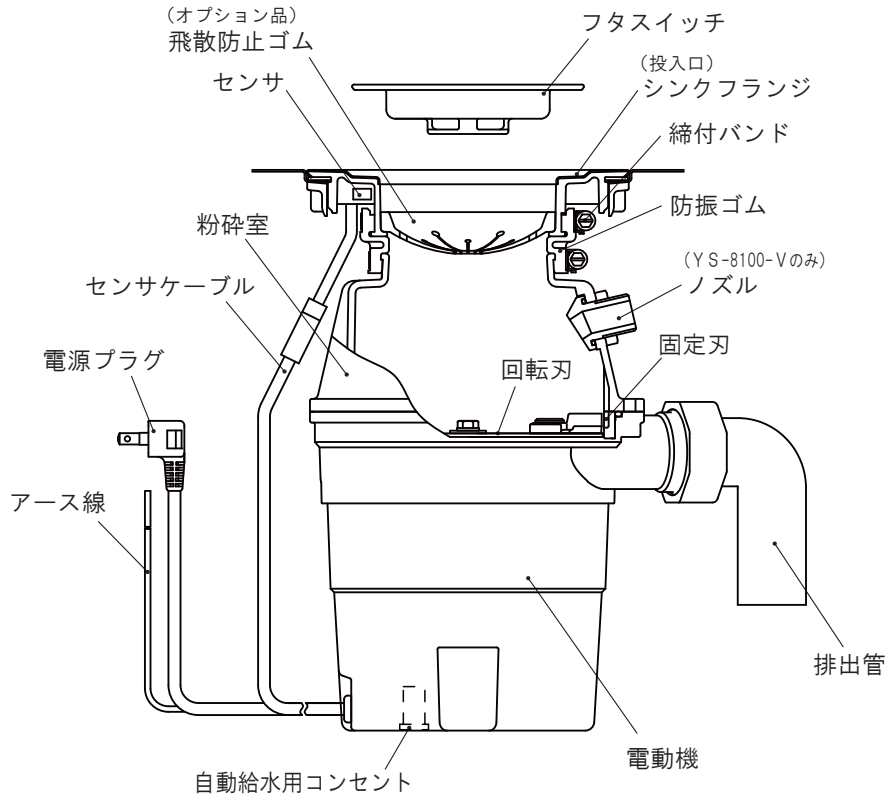
2. 『上記以外の地域』

ディスポーザの単独では使用することができません。所轄の下水道局の設置許可を受けた排水処理装置との併用でのみ使用することができます。なお、排水処理装置は維持管理業者による保守点検および水質検査が義務づけられています。

また、排水管の洗浄（1回以上 / 年）が必要です。

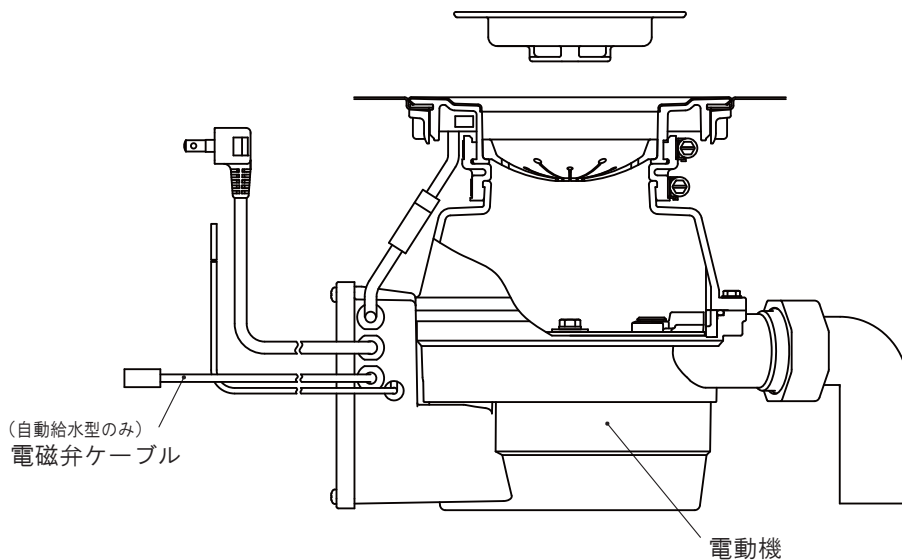
2. ディスポーザの構成

【各部の名称】



YS-8100 (-V)

※YS-8100とYS-8100-Vの違いは粉砕室のノズルの有無となります



YS-7000L (B)

※YS-7000LとYS-7000LBの違いは粉砕室の容量となります



付 属 品
・ ロックハンドル
・ 取扱説明書 (本紙)

3. 安全上のご注意

●安全のために必ずお守りください●

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示はつぎのようになっています。

表 示	意 味
 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性または物的損害が想定される内容です。

下に示す表示は「取扱説明書」や製品に表示して、お客様が安全に正しく製品をお使いいただくためのものです。
内容をよく理解して正しくお使いください。

表 示	意 味
	行ってはいけない
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない
	必ず実行する
	アース線を必ず接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く
	水場で使用しない
	濡れた手で触れない
	特定の場所に触れない
	外部の火気によって製品が発火する可能性あり

故障や異常があるままでディスプレイを使い続けしないでください。

●次のようなときは、電源プラグを抜き水栓を閉めて給水を止めてください。



警告

- 配管や本体から水漏れしている
- 異音・異臭がしている
- 製品が異常に熱い
- 製品にひびや割れが入っている
- 製品から煙がでている

●故障したまま使い続けると、火災や感電・室内浸水の原因になります。

●投入禁止ごみを入れてしまった場合は、必ず異音や水漏れなどの異常がないか確認してください。

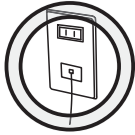
警告

アース工事がされていることを確認する

※アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



アース線
接続



アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く



必ず守る



コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



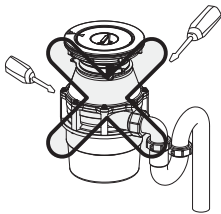
禁止

電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

改造・分解・修理は行わない



分解禁止



火災、感電の原因になります。

お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

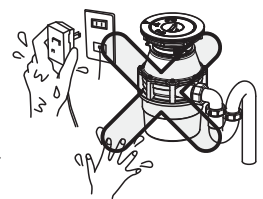


けがや感電の原因になります。

濡れた手で、ディスポーズ本体やコントローラに触ったり、電源プラグを抜き差ししない



濡れ手禁止

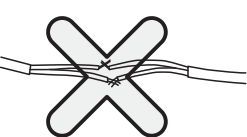


感電の原因になります。

電源コードは途中で切断したり、接続して延長しない



禁止

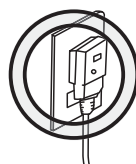


火災、感電の原因になります。

電源プラグの刃などについてのホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む



必ず守る

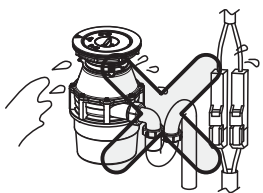


火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ディスポーズ本体、およびコネクタ類に水をかけたり、洗ったりしない



水場禁止



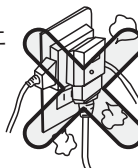
ショートや感電の原因になります。

交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用する

※たこ足配線は絶対しないでください。



必ず守る たこ足配線などで定格を超えると、コンセントなどの発熱による火災の原因になります。



タバコなど火の着いたものは絶対に投入しない



火気禁止

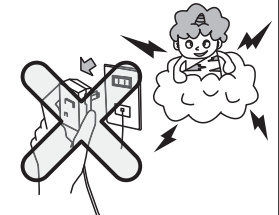


本体などの火災・水漏れ・故障の原因になります。

雷が発生しているときは電源プラグに触れない



接触禁止

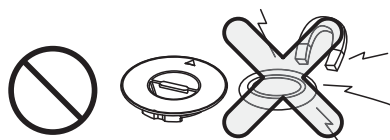


感電の原因になります。

3. 安全上のご注意

⚠ 注意

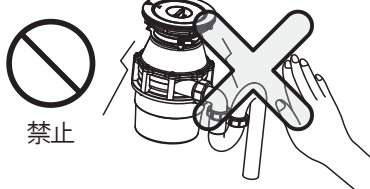
磁石を使用した製品を投入口に近づけない



禁止

ふたスイッチが投入口に収まっていないときに、ディスポーザが作動し、けがの原因になります。

ディスポーザ本体や配線などに力を加えない
また、無理に収納物を押し込まない

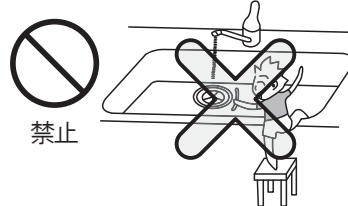


禁止

水漏れや故障の原因になります。

子どもにディスポーザを操作させない

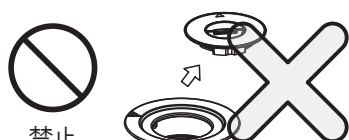
※お子さまが近くにいる場合は、特に注意して使用してください。



禁止

けがの原因になります。

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザの中には手などを入れない



禁止

けがの原因になります。

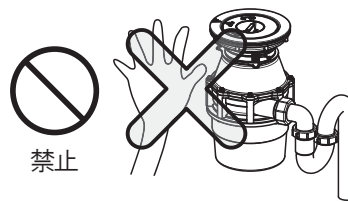
キャビネット内に収納したものがディスポーザ本体に当たらないよう5cm以上はなす
特に、びん類や陶器類などの割れやすいものはディスポーザ本体の近くには置かない



必ず守る

割れてけがをしたり、異音や振動の原因になります。

ディスポーザを運転した直後はディスポーザ本体にさわらない



禁止

やけどの原因になります。

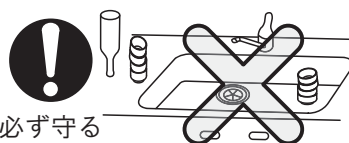
ロックハンドル以外を使ってかみ込み解除をしない



禁止

けがや故障の原因になります

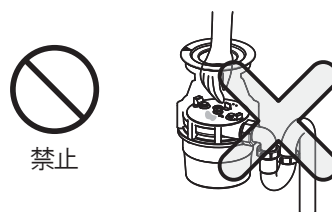
シンクやカウンターの上などに不安定なものを置いたまま、ディスポーザを運転しない



必ず守る

振動で倒れて破損したり、けがの原因になります。

ディスポーザの粉碎室内に手を入れるときは、厚手のゴム手袋などを必ず着用する



禁止

けがや故障の原因になります

ディスポーザの運転前、またはディスポーザの運転中に、多量の水を排水しない



禁止

※ディスポーザの運転は、粉碎室内の排水が完全に流れてから行ってください。

シンクが大きく振動する原因になります。

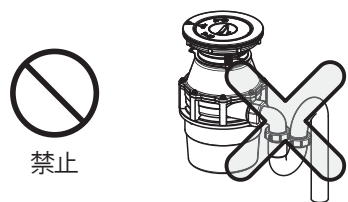
異常時以外ディスポーザの運転を途中で止めない



必ず守る

配管内にごみが残りに配管詰まりの原因になります。

トラップを分解しない



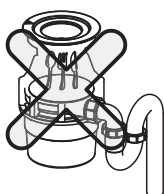
禁止

水漏れの原因になります。

4. 使用上のご注意

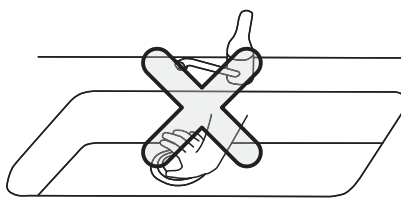
- 食品・食材くず以外は粉碎しない

故障の原因になります。
(7～8 ページ)



- 大量の生ごみを無理に押し込まない

かみ込みや排水不良の原因になります。



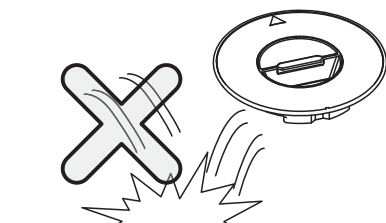
- ディスポーザに生ごみをためたまま長期放置しない

悪臭発生、排水不良、性能低下の原因になります。



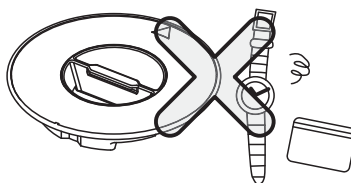
- フタスイッチを落とさない

フタスイッチが破損したり、故障の原因になります。



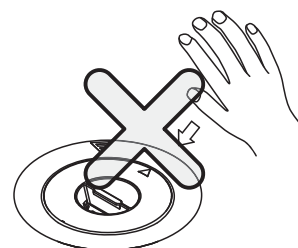
- 磁気に弱いもの（磁気カードや時計など）をフタスイッチに近づけない

フタスイッチが破損したり、故障の原因になります。



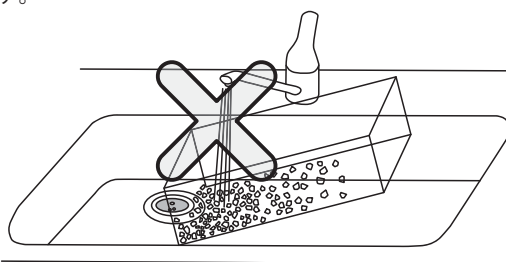
- フタスイッチを誤った位置に無理やり押し込まない

破損の原因になります。
(9 ページ)



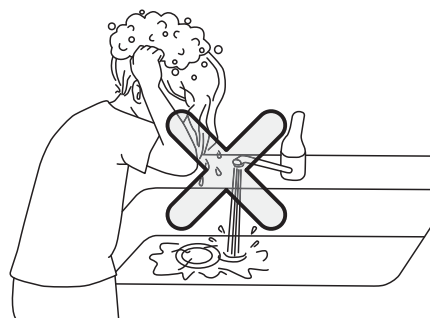
- 生き物の水槽のお手入れをキッチンでしない

水槽の敷石などがかみ込んで故障の原因になります。



- 髪の毛の洗い水を流さない

髪の毛がモーターにからまり故障の原因になります。



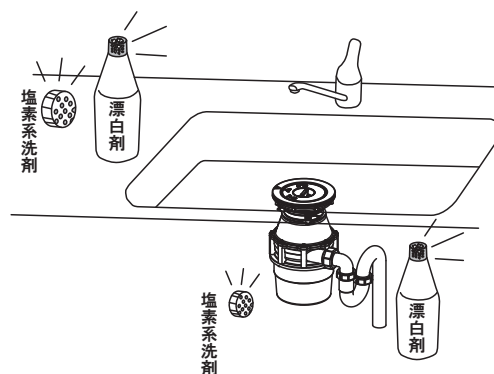
- 固形・粉末や高濃度の液体塩素系洗剤を使用しない

また、ディスポーザ周辺に保管しない

水や湿気に反応して発生するガスが金属や樹脂・ゴムなどを劣化させ水漏れや故障の原因になります。保管場所や使用に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

「塩素系ヌメリ取り剤」について

塩素系ヌメリ取り剤は水分に反応して塩素系ガスを発生します。このガスはステンレスなどの金属をさびさせたり樹脂やゴムを劣化させます。誤って入れてしまった場合は、十分な水でよく洗い流してください。



5. 投入物についてのご注意

投入できるもの

投入物によっては多少残る場合がございます。

食品くず

野菜くず、枝豆の莢、玉ねぎの皮、果物、ご飯、肉類、魚肉、小魚の骨（あじ、いわしなど）、手羽元などの鳥骨、揚げ物、煮物、茶葉、梅干しの種など



小さく切って投入するもの

空転しますので、3cm程度にカットしてください。

大きな野菜

キャベツ、レタス、大根、人参、カボチャなど



大きな果物

グレープフルーツ、メロン、スイカ、パイナップルの皮など



大きな煮物

こんにやくなど



粉碎に時間がかかるもの

粉碎完了しなかったら再度運転してください。
それでも残る場合は燃えるごみで廃棄してください。

強い繊維質

パイナップルの葉、とうもろこしの皮、芯など



弾力性のあるもの

茹タコなど



多量に投入してはいけないもの

多量に粉碎すると配管詰まりの原因となります。
他の生ごみと混ぜ少量ずつ投入してください。

流れの悪い生ごみ

卵の殻など



他の生ごみと混ぜて
少量ずつ（1～2個
程度）

粉碎できないもの

柔らかい生ごみ

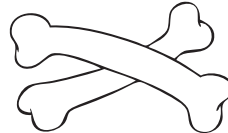
鳥や魚の生皮など



※加熱（煮る、焼く）すると粉碎できます

固い生ごみ








牛や豚などの骨、鯛などの大きな魚の骨など



※故障の原因になります

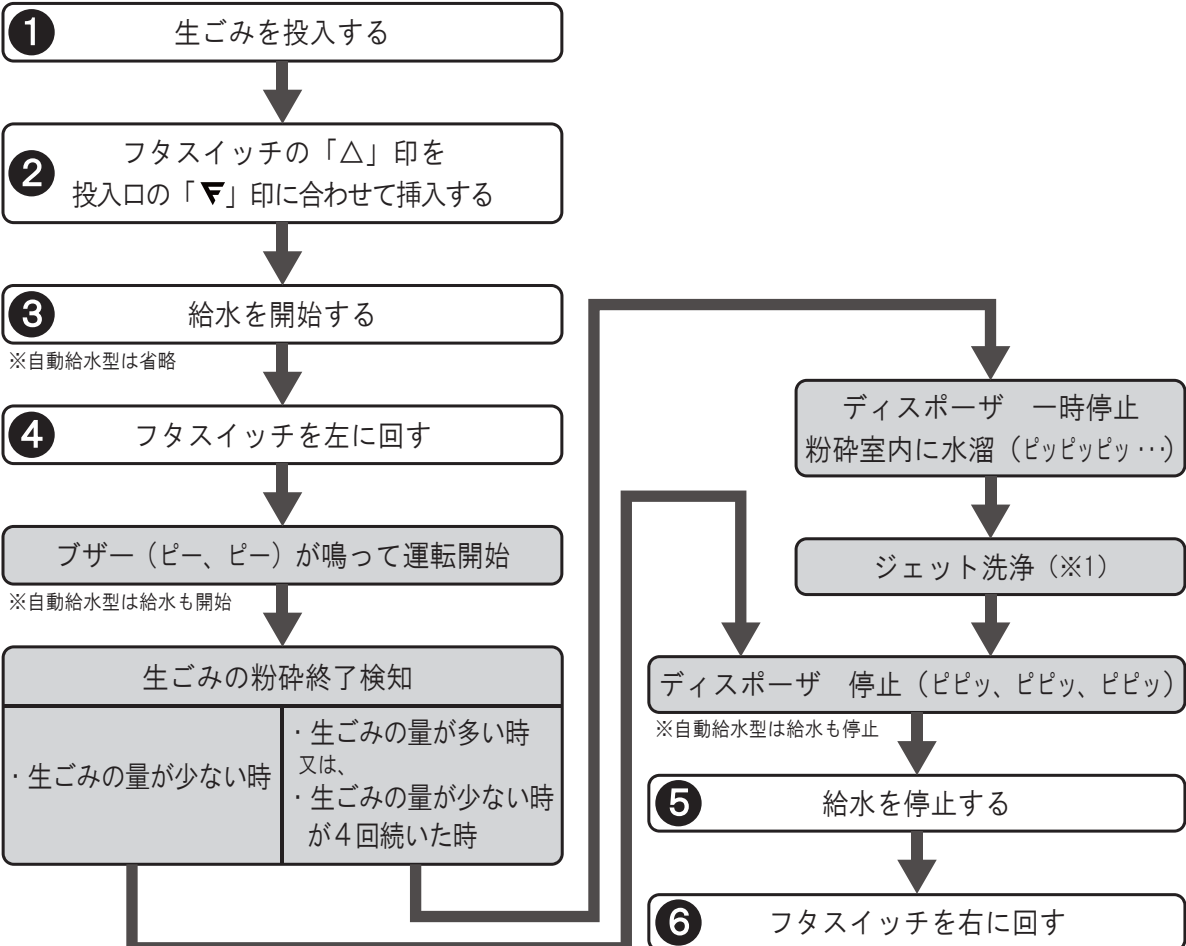
投入してはいけないもの

下記の物を投入すると、ディスポーザを破損したり粉碎できずに内部に残ります。

種類	品名例	投入すると発生する不具合
金属類	スプーン、フォーク、 王冠など 	回転刃の損傷や動作不良など、ディスポーザの故障の原因となります。
ガラス類	コップ、ビンの破片など 	
陶器類	お皿、茶碗、箸置きなど 	
餅類	餅、団子など 	
貝殻類	カキ、サザエ、アサリ、 シジミなど 	ディスポーザ内部で粉碎されても、排水管内に堆積して詰まりの原因になります。
油、薬品類	多量のマヨネーズ、 多量の油、多量の酸・ アルカリ性洗剤 	ディスポーザ本体や配管を劣化させます。
食品くず以外	割り箸、爪楊枝、ガム、プラスチック、ゴム、 紙、ビニール袋、ラップ、アルミホイル、 発泡スチロール、トレイ、キッチンペーパー、 キッチンタオル、ティッシュペーパー、針金、石、砂、タバコの吸い殻など 	ディスポーザ内部に残ったり、排水配管内に堆積して詰まりを引き起こす原因となります。

6. 運転のしかた

ディスポーザ運転のフロー



.....ディスポーザが自動的に行います。

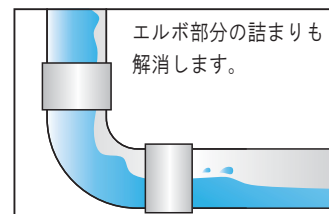
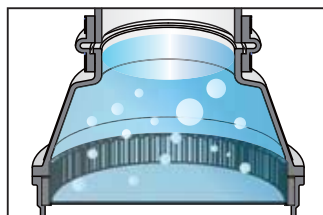


警告

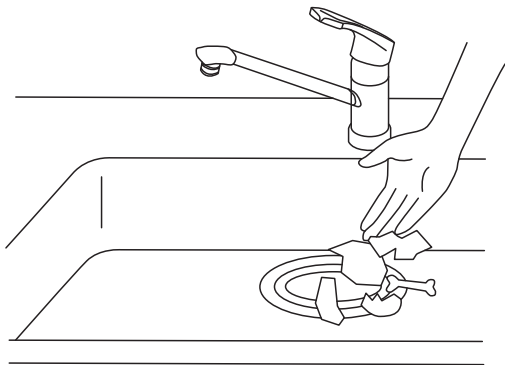
生ごみの詰め込みすぎ、又は異物の噛み込みにより、運転が停止することがあります。この時、過負荷保護装置が作動し、「ピピッ、ピピッ…」というブザー音で知らせます。このブザー音が鳴ったら、フタスイッチの「△」印を投入口の「▽」印に合うまで右に回して止めてください。噛み込み解除方法については13ページを参照してください。

※1) ジェット洗浄

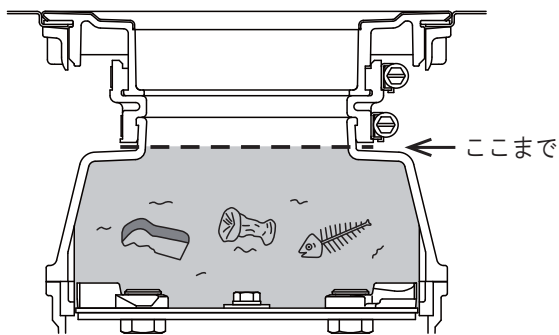
生ごみ粉碎後、ディスポーザ内に水を溜めて一気に排水することで、粉碎室内や排水配管の洗浄を行います。



1 ディスポーザに生ごみを投入してください。



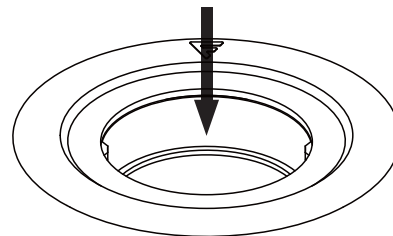
投入口



【投入量の目安】

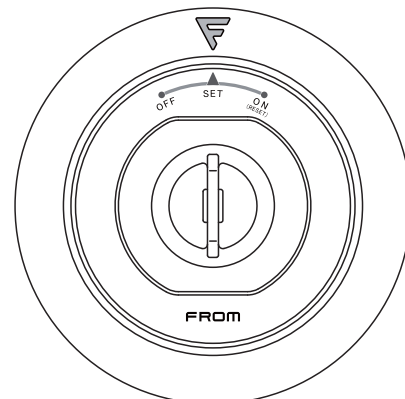
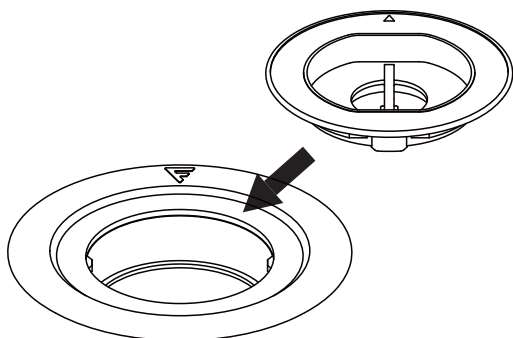
- このとき生ごみを多量に押し込まないようにしてください。下図の投入量の目安をご確認ください。
- 大きい生ごみはあらかじめ3 cm角程度に小さく切ってから投入してください。
- ディスポーザで処理できないものがあります。8ページの投入してはいけないものをよくご確認ください。
- 単一生ごみを多量（両手一杯程度）に投入すると排水配管の詰まりの原因になることがあります。

3 cm角程度



2 投入口にフタスイッチを挿入してください。

- フタスイッチの「△」印を投入口の「▽」印に合わせて挿入します。



6. 運転のしかた

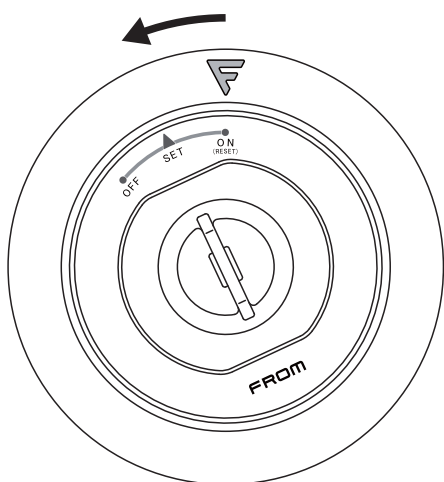
3 水栓を開いて水を流してください。 ※自動給水型は省略してください。

⚠ 注意

水量の目安は親指の太さぐらいです。(8 l/分以上)

※水の量が少ないと排水管内に生ごみが残し、排水管詰まりの原因になります。

4 フタスイッチを左に回して運転を開始してください。



- フタスイッチを左に回すと、「ピー、ピー」とブザーが鳴ってディスポーザの運転を開始します。

※自動給水型は給水も開始されます。

- 生ごみの量が多い時、粉碎が終了するとディスポーザは一時停止し、粉碎室内に水を溜めてジェット洗浄を行います。「ピッピッピッ…」とブザーが鳴っている間は粉碎室内に水を溜めています。ジェット洗浄が終了すると、「ピピッ、ピピッ、ピピッ」とブザーが鳴ってディスポーザが停止します。

※生ごみの量が少ない時が4回続いた時は、5回目の運転で強制的にジェット洗浄を行います。

⚠ 注意

運転中に金属音や非常に大きな音がした場合は、ただちにフタスイッチを右に回して、運転を停止してください。

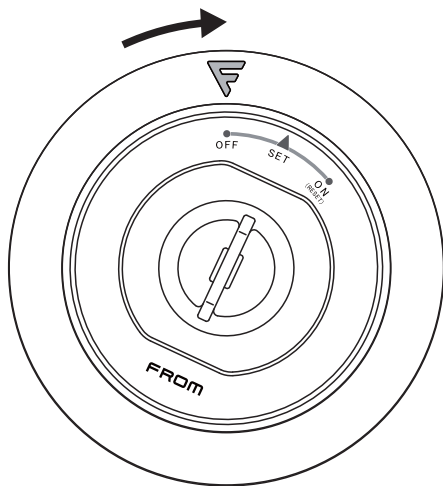
⚠ 注意

過負荷保護装置が頻繁に働くような使用はしないでください。故障の原因になります。

⚠ 注意

「ピッピッピッ…」とブザーが鳴っている間に水を止めないでください。ジェット洗浄による洗浄が行えません。

5 運転が終了したら、フタスイッチを右に回してください。

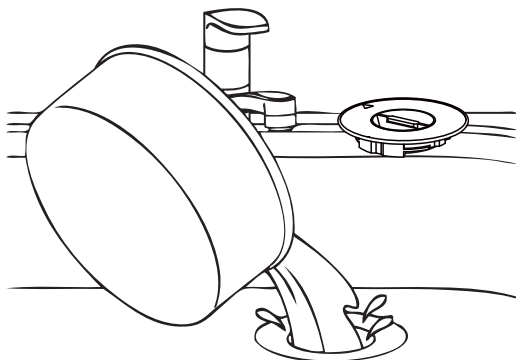


- 運転が終了したら水を止めて、誤動作防止のためフタスイッチを右に回しておいてください。
※自動給水型は運転が終了すると自動で給水も停止します。

⚠ 注意

フタスイッチを外した状態にしておくと、スプーンなど異物が落下してしまう恐れがあります。

6 週に2～3回程度、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。排水配管を洗浄する効果があります。



- 旅行などで長期間留守にされる際、お出かけの前にも溜めた水を一気に流してください。

⚠ 注意

溜めた水を流す際は、ディスポーザのフタスイッチを外してください。溜め水を流した後は、粉碎室内に異物が落下していないことを確認して、フタスイッチの「△」印を投入口の「▽」印に合わせて挿入してください。

7. 「ピピピッ、ピピピッ、…」と音が鳴って動かないときは

噛み込み解除の仕方

粉碎中に、かたい生ごみや、生ごみの詰め込みすぎ、スプーンなどの異物により噛み込みが発生した場合、過負荷保護装置が作動してディスポーザが停止します。

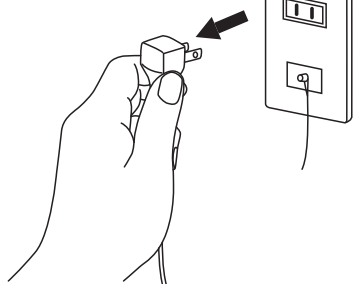
この場合、「ピピピッ、ピピピッ、…」というブザー音でお知らせします。

下記の手順で噛み込みを解除してください。

解除終了後は、フタスイッチでのリセット（過負荷保護装置の復帰）が必要です。

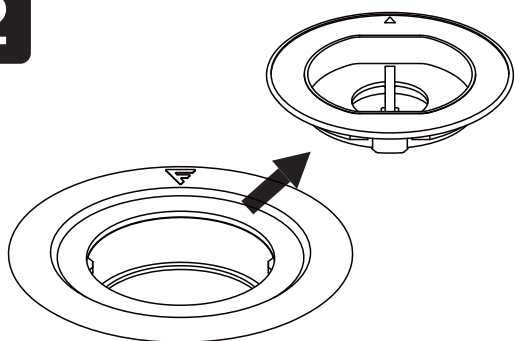
リセット方法については、P15のリセット方法を参照してください。

1



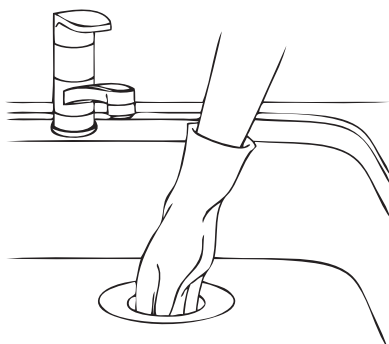
ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

2

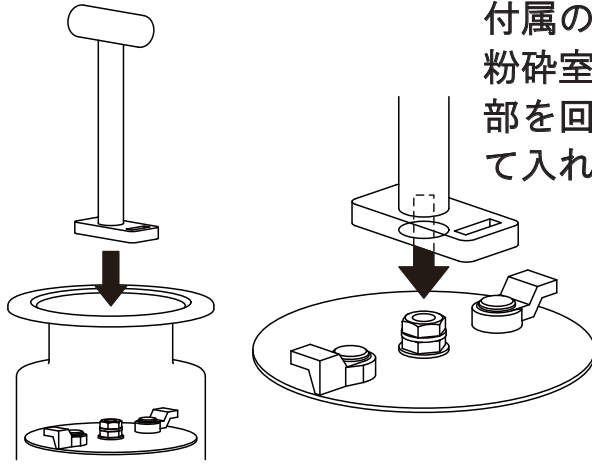


投入口からフタスイッチを外してください。

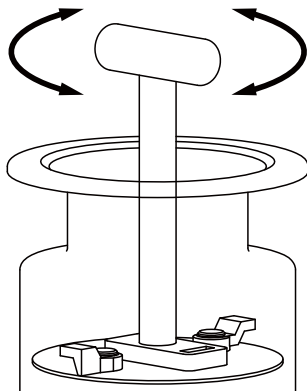
3



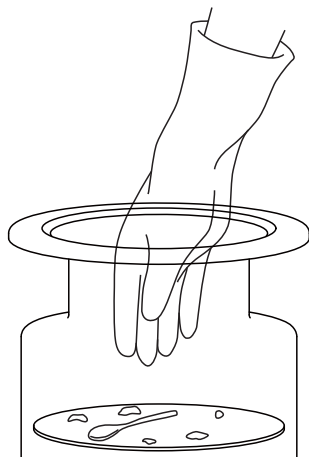
厚手のゴム手袋などをして、投入口に手を入れて粉碎室内の生ごみをできるだけ取り出してください。

4

付属のロックハンドルを投入口から
粉碎室内に差し込み、ハンドルの凹
部を回転刃の中心のナットに合わせ
て入れてください。

5

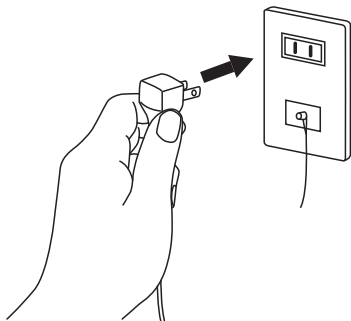
ロックハンドルを左図のように左右
どちらかに回してください。回転刃
が軽く回るようになると噛み込みが
解除されています。

6

ディスプレイの粉碎室内部の異物を
取り除いてください。

7. 「ピピピッ、ピピピッ、…」と音が鳴って動かないときは

7



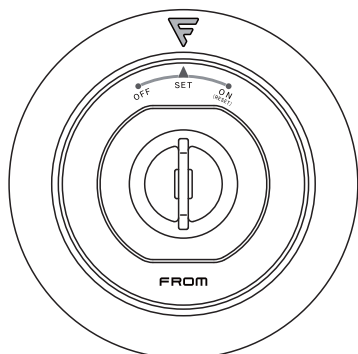
ディスプレイの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リセット方法

必ず粉碎室内の異物を取り除いてからリセットを行ってください。

回転刃がロックした状態でリセットと ON を繰り返すと、電動機の故障につながります。

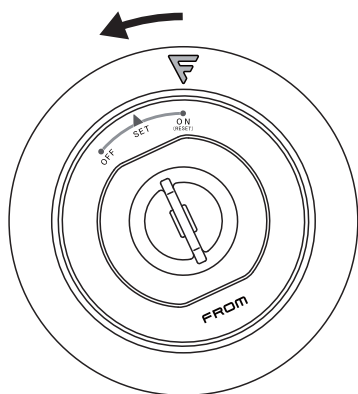
1



投入口にフタスイッチを挿入してください。

フタスイッチの「△」印を投入口の「▽」印に合わせて挿入します。

2



フタスイッチを左に回してください。

「ピー」とブザーが鳴り、過負荷保護装置が解除され、再運転が可能となります。

再度運転する場合は、一旦フタスイッチを OFF に戻してから、ON にすると運転します。

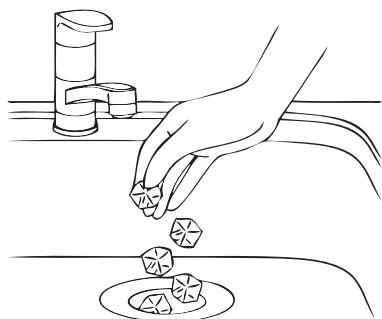
8. ディスポーザのお手入れ

ディスポーザ本体内部のお手入れ

ディスポーザは生ごみ処理する機械です。粉碎室内に生ごみの破片等が残ったまま放置しますと悪臭の原因になりますので、下記の手順で定期的（週に2～3回程度）にお手入れを行ってください。

ディスポーザ本体内部のお手入れ

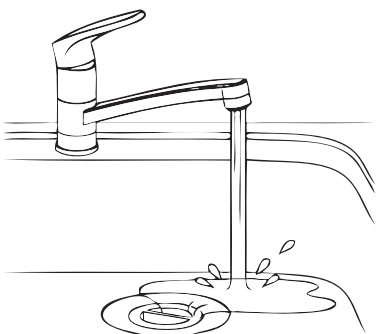
1



氷（キューブアイスなど）を5～6個、投入してください。

※このとき氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを数滴、粉碎室内へ投入すると効果的です。

2



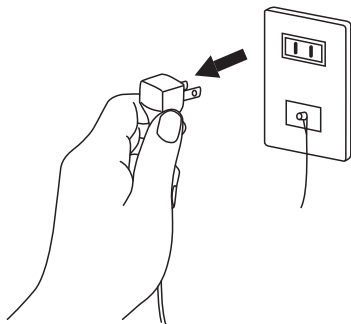
ディスポーザの運転を行ってください。

ディスポーザで細かく砕かれた氷がシャベット状になって、粉碎室内に付着した汚れを洗い流します。

8. ディスポーザのお手入れ

「氷洗浄」によるお手入れを行ってもなお、においや汚れが気になる場合は、下記の手順で内部をお掃除してください。

1

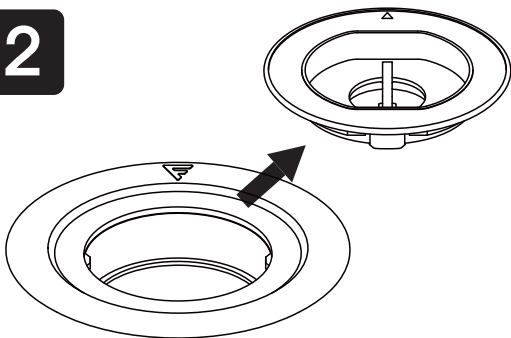


ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

 警告

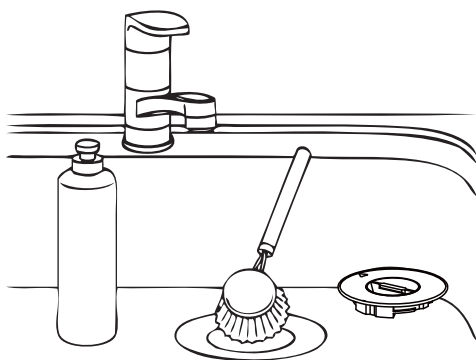
内部の洗浄をする時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。けがの原因になります。

2



投入口からフタスイッチを外してください。

3

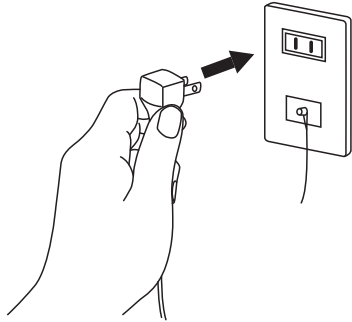


柄のついたブラシ等に台所用中性洗剤をつけて、ディスポーザ内部を擦り洗いしてください。

 注意

内部に手を入れるときは、必ず厚手のゴム手袋などを着用してください。けがの原因になります。

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

その他

- ディスポーザ本体（外側）の汚れは、かたく絞った布で拭いてください。

警告

電動機は濡らさないでください。漏電・感電の原因になります。

注意

台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

- ディスポーザを使用しないで、生ごみを可燃ごみとして出される場合も、週に1回程度ディスポーザを運転してください。粉碎室内に入ったごみが堆積して通水路を塞ぎ、水が流れにくくなる場合があります。

粉碎室内の回転刃や固定刃などの部品はステンレス製ですが、粉碎した生ごみの破片や異物付着したまま放置しますと、黄ばみや汚れがこびりついてしまうことがありますが、ディスポーザの性能上、全く影響ありません。

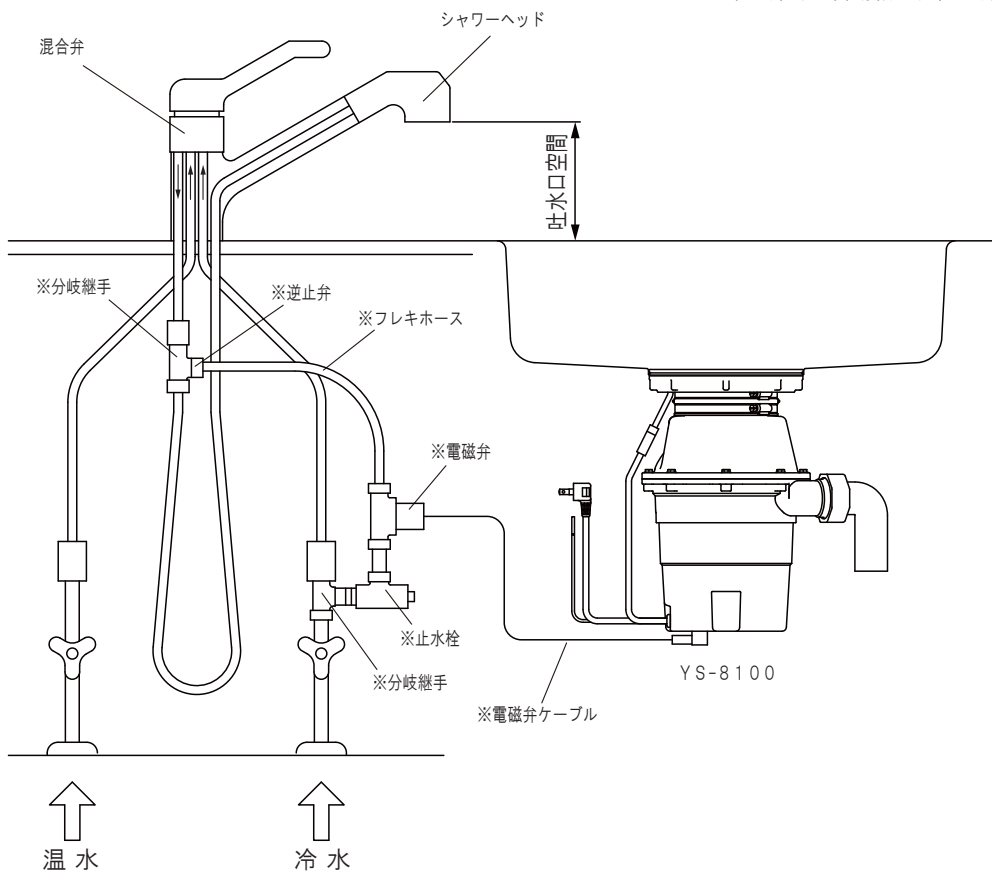
9. 自動給水型ご使用のご注意

自動給水型ディスポーザとシャワー引出し型混合水栓の組合せで、給水を自動的に給水する場合は、必ず混合水栓のシャワー部に「逆止弁付き」分岐水栓を付けて給水を供給してください。

また、ディスポーザをご使用になる際には、シャワーヘッドとシンクとの間にと吐水口空間を確保できるように、シャワーヘッドは水栓本体の所定の位置にセットしてご使用ください。

上記の使用方法をしないと、揚水ポンプの故障や断水などで逆サイホン現象（給水源が負圧になった時の吸引作用で給水先の水を給水源に吸い込む現象）が発生した場合、給水源側に使用後の水が混入する汚染事故の確率が大となります。

※印の部材は自動給水装置の部材となります。



自動給水型ディスポーザとシャワー引出し型混合水栓の設置例



10. 故障の原因と対策

ディスポーザをご使用中に異常が生じた際は、この章をご覧になり処置方法を試してください。それでも直らないときは、販売店へご相談ください。

症 状	原 因	処 置
ディスポーザが動かない	フタスイッチが確実に入っていない	フタスイッチの「△」印を「▼」印に合わせて入れ直し、左に回してください。
	生ごみの詰め込みすぎ、または異物が噛み込んで、過負荷保護装置が作動している。	噛み込みを解除して、過負荷保護装置を解除させてください。 (☞13ページ)
	電源プラグが抜けている。	ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	屋内ブレーカーボックスの電源が落ちている。	屋内ブレーカーボックスの電源を復旧してください。
	漏電している。	使用を中止して、販売店へご相談ください。
運転中に異常振動、異常音がある。	金属類やガラス類、プラスチックなどの異物が投入されている。	異物を取り除いてください。
	生のタコやイカなど、処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。
	強固な異物の噛み込みにより、回転刃が変形している。	回転刃の交換が必要です。販売店へご相談ください。
生ごみが粉碎室内に残る。	投入できない生ごみ、または処理しにくい生ごみが多量に投入されている。	投入できない生ごみは取り除き、処理しにくい生ごみは小さく切って少量ずつ、他の生ごみと混ぜて処理してください。
ブザーの音が鳴り止まない。	過負荷保護装置が作動しています。	フタスイッチの「△」印を「▼」印の位置に戻して、ブザーを止めてください。その後、噛み込んでいるものを取り除いて、過負荷保護装置を解除させてください。(☞13ページ)

<p>ディスポーザを使用しないとき、シンク内の水が流れにくい。</p>	<p>ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。</p>	<p>ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。</p>
	<p>ディスポーザを長期間使用していないため、粉碎室内にごみが溜まっている。</p>	<p>ディスポーザを長期間使用しない場合でも、週に1回程度運転してください。</p>
<p>シンク内に水が溜まって、まったく排水されない。</p>	<p>ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。</p>	<p>ディスポーザの運転を行い、生ごみを処理してください。</p>
	<p>強い繊維質の生ごみや貝殻類など、投入してはいけないものを粉碎して、ディスポーザ内、または排水配管に詰まっている。</p>	<p>販売店へご相談ください。</p>
<p>ディスポーザのモータ部から水が漏れている。</p>	<p>ディスポーザの中に生ごみが溜まったままになっている。</p>	<p>パッキン、軸封部などは消耗部品です。販売店へご相談ください。この状態で使用を続けると、本体の故障の原因になります。</p>

アフターサービス

修理を依頼される前に、21～22ページの「故障の原因と対策」の項をよくご確認ください。

●保証書

保証書は本書の25ページに掲載してあります。

必ずお引渡し日の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間は、お引渡し日から1年間です。

●補修用部品の最低保有期間

補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

●保証期間中の修理について

説明書の内容をよくお確かめの上、なお異常のあるときには販売店へ修理を依頼してください。

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

なお、修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

●保証期間経過後の修理について

販売店へご相談ください。

ご要望により、製品の機能を維持するための修理、または新品への交換を有料で行います。

●お問合せ先

販売店へご連絡ください。



保証書

本書は、下記保証範囲において、無償修理を行うことを保証するものです。本製品の使用において、不都合が生じた場合は、本書をご提示の上、販売店へ修理を依頼ください。

品名・型式	ディスプレイ YS-
製造番号	
販売店名	
保証期間	お引渡日から1年間

お客様	おなまえ	様	
	おところ		
お引渡日	年	月	日

●無償保証規定

- 保証期間中、取扱説明書に従った正常なご使用にもかかわらず、株式会社フロム工業が納入した機械の設計、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合、その部分について表記の期間無償で修理または交換をいたします。
- 前項による保証範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は保証しません。
- 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お取付後の移設等に起因する故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・凍結その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - 指定外の電源（電圧・周波数）の使用及び異常水質による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 異物噛み込みによる不具合及び消耗部品の損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお客様名、お引渡日の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証期間内でも、保証範囲は本体及び付属品のみで、排水配管類は含みません。
- 不具合の原因が不明確な場合は、協議の上、処置を決定することとします。
- 修理に必要な部品の弊社保有期間は、製造打切り後7年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●サービス記録

年月日	不具合内容とその処置	担当者

ディスポーザの仕様

型 式	YS-8100(-V)	YS-7000L	YS-7000LB
運 転 方 式	フタスイッチ運転		
運 転 時 間	22秒～90秒（ジェット洗浄運転時 37秒～105秒）		
終 了 方 式	終了検知機能による自動停止		
使 用 水 質	水道水（0～40℃）		
使 用 水 量	8ℓ/分以上		
設 置 場 所	流し台シンク下		
設 置 方 式	吊り下げ式		
使用周囲温度	0～40℃		
使用周囲湿度	90%RH以下		
使 用 電 源	単相100V、50/60Hz		
電 源 容 量	15A		
電 動 機 形 式	単相誘導電動機		
定格消費電力	379W/384W		
定 格 電 流	4.1A/3.9A		
自動給水用コンセント	単相100V・1A	-	-
運転時間定格	5分		
粉 碎 方 式	スイングハンマー方式		
粉 碎 室 容 量	1.5ℓ	1.3ℓ	1.0ℓ
製 品 重 量	5.6kg	5.6kg	5.6kg
保 護 装 置	過負荷保護装置（フタスイッチ復帰式）、マグネット式フタスイッチ		
電源コード長さ	1.0m		

●過負荷保護装置・・・異物を噛み込んだときや、生ごみを詰め込み過ぎたときに作動し、電動機の焼損を防ぎます。

※この取扱説明書と実際の製品の部品のデザインは異なる場合がございます。

製造元



〒809-0003 福岡県中間市上底井野 422-5

TEL(093)244-2061 FAX(093)244-2281

E-mail : mail@frominfo.com <https://www.frominfo.com>